

将来フレーム

稼ぐ力のある島へ ー産業フレームー

- 離島では雇用の確保が人口の維持・増加に直結するため、産業振興を重要施策として位置づけます。
- 久米島で豊かに暮らしていくために、人口減少に伴う就業者数の減少を受け入れつつも、島の産業の活性化、一人当たりの総生産額の増加を狙い、適切な産業振興策を講じます。

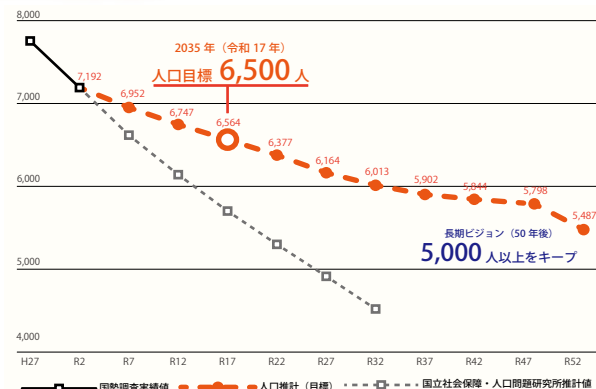
農業	水産業	製造業	飲食・宿泊業 (観光関連業)
就業者数 現状 (R2) 634 人	就業者数 現状 (R2) 200 人	就業者数 現状 (R2) 255 人	就業者数 現状 (R2) 283 人
目標 (R17) 500人	目標 (R17) 210人	目標 (R17) 240人	目標 (R17) 350人
総生産額 現状 (R2) 10 億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 170 万円	総生産額 現状 (R2) 5 億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 250 万円	総生産額 現状 (R2) 11 億円 1人当たり総生産額 現状 (R2) 440 万円	総生産額 現状 (R2) 6 億円※ 1人当たり総生産額 現状 (R2) 200 万円
目標 (R17) 14 億円 1人当たり総生産額 280万円	目標 (R17) 8 億円 1人当たり総生産額 380万円	目標 (R17) 30 億円 1人当たり総生産額 1250万円	目標 (R17) 13 億円 1人当たり総生産額 370万円

久米島町全体

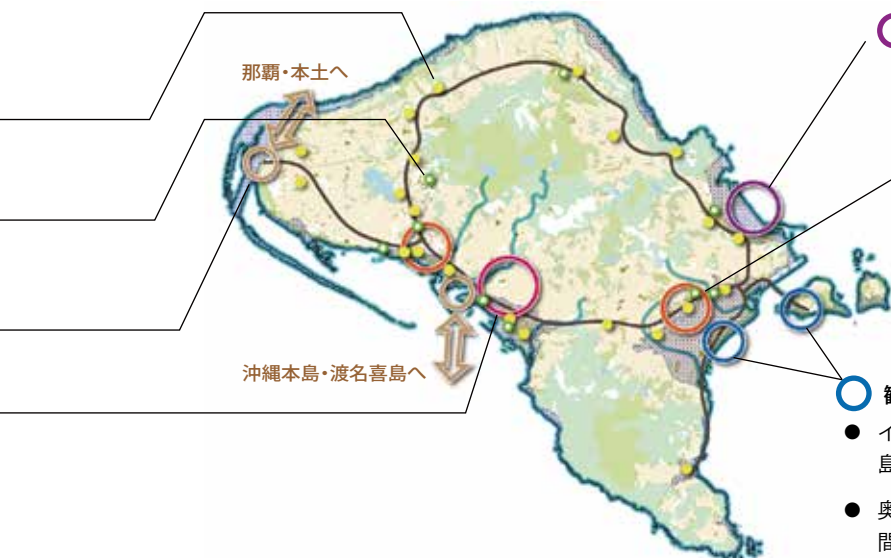
就業者数	総生産額	1人当たり総生産額
(現状) 3,445 人 目標 3,160 人	(現状) 201 億円 目標 244 億円	(現状) 600 万円 目標 760 万円

久米島らしく暮らせる社会へ ー人口ビジョンー

- 本町では、今後も少子高齢化・人口減少の進行が予想されます。
- 人口減少を受け入れつつも、各産業の維持・活性化を図り、人口減少の抑制につなげていく必要があります。
- 進学や就職で島を離れた子どもたちが、将来「戻りたい」と思える島づくりと、雇用の創出が重要です。
- 若い世代のUターンや移住を促し、島の産業を支える好循環を生み出すことで、久米島らしく暮らし続けられる社会を目指します。



産業フレームから導いた就業者数を踏まえ、2035 年 (令和 17 年) の将来人口を 6,500 人に設定します。長期人口ビジョンについては、総合計画の見直し時に適宜検証し、当面は 5,000 人を下回らないことを長期的な展望とします。



海洋深層水事業振興拠点

- 海洋深層水事業の振興や他分野への展開など、さらなる利活用を図る

地域拠点

- 買い物・飲食・医療等の生活サービス機能を誘導する
- 近隣集落と公共交通などで結び、生活利便性を高める

観光拠点

- イーフビーチ通り：飲食店・宿泊施設等の立地誘導を図り、島民や観光客が賑わい楽しめるリゾート空間の形成を推進
- 奥武島：環境保全と観光振興の両立、レクリエーション空間としての環境整備を推進